

午前11時44分 開会

【福本委員長】 委員の出席状況について報告する。全員出席である。

議長 挨拶

1 議事運営について

【福本委員長】 市側に説明を求める。

【総務部長】 議案書の訂正について説明申し上げる。議案第53号大和市一般職の職員の給与に関する条例及び大和市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例についてである。議案書の12ページ、下から2行目であるが、「100分の52.25」とあるが、これを「100分の52.5」に訂正させていただきたい。また同様に、議案書の37ページであるが、上から10行目、これも同様に、「100分の52.25」とあるが、「100分の52.5」に訂正させていただきたい。これらはいずれも再任用職員の勤勉手当に係る支給月数を、入力の際により訂正させていただきたいものである。また、正誤表については、議場においても配付させていただきたい。

【福本委員長】 説明のとおりでどうか。

【中村委員】 本件は先ほどの本委員会るときには分からなかったのか。

【総務課長】 そのとおりである。本会議中に誤りが見つかった。

【中村委員】 今回たまたま石田議員からの動議があり、本委員会を開いていたから分かったが、あのまま議事が進行していれば、間違っただけで済んだかもしれない。今回誤りが判明したのが、どうしてこのタイミングになったのか。

【総務課長】 庁内から、人事所管部局に、誤っているのではないかと連絡があり、もう一度見直してみたところ誤りが分かったと聞いている。

【中村委員】 もし誤りに気づかず議決されていたら、その後また再度議決していたのか。

【総務課長】 今回、即決をお願いしている議案であるので、再度議案を提出して改正するという手続きになったものと考えている。

【中村委員】 人間であるから、間違いはあるので注意してほしいとしか言えないが、昨今このような細かいミスが多い気がするので、重々御注意いただきたい。

【石田委員】 本件は即決でお願いしている議案である。ただでさえ情報が限られてる中で、このような間違いがあったということは極めて問題だと思う。どのようなチェック体制で行っているのか。

【総務課長】 本件に関しては、基本的に人事院勧告を確認し、今回で言うと議案の提出をする人事主管部局で改正案を作成し、その上で、総務課の法制部門でもチェックしている。申し訳ないが、そのチェックも及ばなかった。

【石田委員】 この数字が違うことで、これに紐づいた様々な数字に関しても心配であるが、確認されたのか。

【総務課長】 ほかの数字の金額等々も確認したところである。そこでは誤りはなかった。

【石田委員】 このようなことが起こっているのだから、これから議場で採決が行われるが、ありえないことである。このような問題も含めて、しっかりと常任委員会で議論することは重要なことだと思う。

【堀合委員】 このようなことが起きてしまうことについては、何かしらの原因があると思うので、

しっかりと究明をしていただきたいと思う。職員が働きすぎであるとか、そういうことも関係あるのかもしれない。しっかり精度の高い仕事に努めていただきたい。

【星野委員】 この数値が出るまでのことを確認したい。この数値を作るにあたり、様々な課が順番に確認していくと思うが、チェックをする担当者の肩書きを教えてください。

【総務課長】 最終的に市長決裁となる。担当者から係長、課長、本件は総務部長、また合議で未来政策部長まで確認している。それらを経て、副市長、市長という決裁の順になる。

【星野委員】 総務部と未来政策部の各係長、課長、部長、副市長、市長全てこのミスを見過ごしたということで間違いはないか。

【総務課長】 事実上そういうことになる。

【福本委員長】 ほかになければ、事務局からこの後の本会議の再開時間について説明を求める。

【事務局次長】 正副議長、また、市側とも相談をさせていただいた結果、本会議の再開は午後1時となるので、所属会派の議員への周知をお願いします。

【福本委員長】 ほかになければ、以上で閉会する。

午前11時52分 閉会